TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られた　祈りの家

マタイの福音書 21:12-13

2022 年 5 月 28日&29 日

余沢　武牧師

I. 初めに

こんにちは。今日は TBC ファミリー・ギャザリング・デーです。私たちが毎年の予算案とその他の事を承認するための日です。TBC のメンバーでまだ投票していない方は、他の皆さんが一緒に賛美をしている間に、投票のために時間を取ります。

紙の投票用紙を使ってください。名前を記載して 4 項目をチェックしてください。そして、お帰りになる際に、献金箱に入れてください。鉛筆や投票用紙がない方は手を挙げてください。アッシャーの方がお渡しします。または、オンラインでも投票することが可能です。でも、どちらかの一つにしてください。

① TBC メンバーであるなら、このようなメールが届いているかと思います。
② メールを開いて、下までスクロールし、「投票をする」をクリックしてください。
③ 必要な情報を記入して、4 項目にチェックを入れて、「**Submit**」をクリックして投票してください。

（午後にこのメッセージをご覧になっている方も、投票してください。デッドラインは今夜の 12 時です。）

投票している間に、すでに投票している方や TBC メンバーではない方の皆さんは一緒に歌いましょう。

今日は「**王が来られた**」のメッセージシリーズを続けます。イエスが王であるメシアとして、神の民を敵から救うために、ロバに乗ってエルサレムに入ってきた場面を見ました。今日は、イエスがそこで何をしたか見ていきましょう。

ではまず、祈りましょう。

II.祈りの家

(1)敵を見極める

マタイの福音書 21:12 を読みましょう：

12 それから、イエスは神殿の境内に入り、そこで売り買いしていた人々を皆追い出し、両替人の台や鳩を売る者の腰掛けを覆された。

人々のほとんどは王であるメシアが来る時は、ローマの兵士を攻撃するだろうと考えていました。しかし、驚いたことに、イエスが来られた時、ユダヤ人の神殿の中にいる人―両替人と鳩を売る者―　を攻撃しました。何故でしょう？
当時の 500 年前に預言されていたことです。

マラキ書 3:1、3 にはこのようにあります：
1…あなたがたが求めている主は　突然、その神殿に来られる。…3 銀を精錬し、清める者として座り　レビの子らを清め　彼らを金や銀のように純化する。…

しばしば、私たちが敵だと思っている人たちは本当の敵ではないことあります。エジプトにいたときのイスラエルの人々のことを覚えているでしょう。彼らはエジプト人のせいで人生が惨めだと思っていたため、エジプト人から解放されたら、良い生活ができると思っていました。

そして、神はモーセを通してイスラエルの人々をエジプトから解放しました。しかし、それでも彼らは約束の地に入って良い生活をすることは出来ませんでした。何故でしょう？

それは、本当の問題はエジプト人ではなかったからです。本当の問題は彼ら自身でした―彼ら自身の罪です。

イエスの時代、ユダヤ人はローマの抑圧下にいました。彼らはローマのせいで惨めな生活をしていると思っていたため、ローマから解放されたら、良い生活ができると思っていました。これも、彼らは間違っていました。同じように、本当の問題は彼ら自身―彼ら自身の罪でした。

私たちも同じです。多くの場合、私たちは何らかの理由、この人やその人のせいで人生が惨めだと思い、それから解放されたら、良い生活ができると思っています。しかし、本当の問題は私たち自身―私たち自身の罪です。この敵を打ち破るためにイエスが来られました。

実際は、神は人々に敵を打ち破るための場所を与えていました。それは「**神殿**」であり「**いけにえを捧げること**」や「**祈り**」によってでした。しかし、ユダヤの指導者たちは理解していなかったのです。

敵を打ち破る場所として使う代わりに、「**両替人**」と「**鳩やいけにえの動物を売ること**」によってより多くの金を稼ぐ場所としてそこを使ったのです。

(2)祈りの家

マタイの福音書 21:13

13 そして言われた。「こう書いてある。『私の家は、祈りの家と呼ばれる。』ところが、あなたがたは それを強盗の巣にしている。」

イエスは彼らに思い出させたのです：神殿は祈りの家であるはずだと。その場所は人々が神に祈ることができ、自らの罪の赦しを請い、神の御前で神の愛と神の保護と共にあることが赦された場所でした。

最初の人間であるアダムとエバが神の庭であるエデンの園で罪を犯した時、私たちの中に罪が入り込みました。そして人間はその園から追放されました。神はそこにケルビムという御使いと炎の剣を置いて、人間が神の御前に来ることを防いだのです。

神殿はこのことを私たちに思い出させるものでした。神殿には最も神聖な、神が人とお会いになる部屋がありました。神が授けたオリジナルのデザインでは、その部屋はケルビム達のイメージが描かれた垂れ幕で仕切られていました。そして誰もその部屋に入ることは許されませんでした。

しかし唯一例外がありました。年に一度、贖いの日にだけ、大祭司はケルビムが描かれていた垂れ幕を通り、その部屋に入ることができました。

その部屋では、誰も見ることが出来ないものを見る事が出来ました。契約の箱とそれを見張っている二つのケルビム。そして契約の箱の中には私たちが犯した罪、神の十戒が書かれている板が入っていました。

大祭司は私たちの罪の罰として、契約の箱に動物の血を振りかけました。これにより私たちは神に赦され神に受け入れてもらうことができました。これが神の神殿での祈りでした。

しかし、当然ながら、動物の血は人間の罪を取り除くことはできません。全て象徴的な行為です。イエスが初めての罪のない人間として自分を捧げるために来られて、私たちの罪が赦されるようにしてくれました。

そしてイエスが亡くなった時、垂れ幕が裂けて開きました。障害物が取り除かれたのです。ケルビムは去りました。自らの罪を悔い改め、イエスの死を「自分達の罪のためのいけにえ」として受け入れた全ての人々は、罪を取り除かれ、神の御前に自由に来られるようになりました。さらに、神の聖霊も受けられるようになりました。

そして今、聖霊が私たちの中におられるので、私たちが「**神の神殿**」となります。私たちが今「**祈りの家**」であり、私たちの中で、祈りによって神にむかい、悔い改め、赦しを受け、神の御前に神の愛と神の保護と共にあることが出来るのです。

(3)強盗の巣

神殿とはこういうものでした。そして、イエスはユダヤ人が神殿をエレミヤが預言したように「**強盗の巣**」にしたことを非難しました。

エレミヤ書 7:9-11 にはこうあります：

9 盗み、殺し、姦淫し、偽って誓い、バアルに香をたき、あなたがたが知らなかった他の神々に従っているではないか。10 それなのにあなたがたはやって来て、私の名が呼ばれるこの神殿で私の前に立ち、「我々は救われた」と言って、これらのあらゆる忌むべきことを行おうとする。11 私の名が呼ばれるこの神殿は、あなたがたの目には盗賊たちの巣窟となったのか。私にはそう見える――主の仰せ。

イエスが強盗の巣とはこういうことだと言いました：「**盗み、殺し、姦淫し、偽って誓い、バアル(つまり偶像)に香をたき…**」

言い換えると、心から悔い改めて赦しと変えられるように祈る代わりに、彼らは神殿でいけにえを捧げたことによって赦されていると思い込み、罪を犯し続けてもよいと思っているのです。

彼らは「**祈りの家**」を「**強盗の巣**」に、つまり悔い改めない罪人の隠れ家に変えてしまいました。

クリスチャンの皆さん、私たちも現在の「**神の神殿**」について警戒する必要があります。

絶えず祈りによって神の御前に来て、悔い改め、赦しを受け、神の臨在と神の愛と保護と共に生きる代わりに、イエスご自身が私たちの罪のためにご自分をいけにえとして捧げると志願されたことにより私たちは赦されているので、罪を犯し続けても良いと思い込むこともできるのです。

これをしてしまうと、私たちも「**祈りの家**」から「**強盗の巣**」に変わってしまいます。

ところで、自分が悔い改めた「**祈りの家**」であるか「**強盗の巣**」であるか見極める簡単な方法があります。私たちが他人の罪についてよりも、自分自身の罪に対してより批判的であるかどうかを、自分自身に問うことです。

イエスがルカ 18 章で話したたとえ話の一つ・・・「**徴税人**」と「**ファリサイ派**」の話を覚えていますか。その二人は祈るために神殿に行きました。

① ファリサイ派の人はこう祈りました：「神様、私はほかの人たちのように、奪い取る者、不正な者、姦淫する者でなく、また、この徴税人のような者でないことを感謝します。」(ルカ 18:11)
② 徴税人はこう祈りました：「神様、罪人の私を憐れんでください。」(ルカ 18:13)
③ イエスはこう言いました：「義とされて家に帰ったのは、この人(徴税人)であって」(ルカ 18:14)

ファリサイ派の人と徴税人の二人は両方とも罪に批判的だったことに気づいてください。違いは、このファリサイ派の人は他人の罪を批判しました。しかし、徴税人は自分自身の罪を非難しました。

私たちが「**祈りの家**」となる時、内面にこのような変化が見えます。他人を批判するよりも、自分自身により批判的になります。

そして私たちは絶えず神に祈り、悔い改め、赦しを受け、いつも神の御前に神の愛と保護と共に留まるようになるのです。

王であるメシアとしてイエスは、新しい「**神の神殿**」、本当の「**祈りの家**」である神殿を私たち一人ひとりの内に建てるために、来られました。

私は以前、この聖書箇所はプレイヤーミーティングに参加することを指してると思っていました。確かにそういう要素はあると思います。しかし、もっとそれ以上の意味があります。私たちは「**祈りの家**」ではない状態、いつも自分を棚にあげて他人を非難するような状態でも、プレイヤーミーティングに参加することは出来てしまうからです。

しかし、イエスが私たちに求めているのは、日々「**祈りの家**」として生きること・・・絶えず十字架を見て、神のもとで祈り、悔い改め、そして赦しと救いを受取り、神の御前に愛と保護と共に留まることです。イエスは私たちを「**神の神殿**」「**祈りの家**」にするために来られたのです。

もしあなたがまだイエスを受け入れていらっしゃらないのならば、どうぞ今日そうしてください。イエスのもとに来て、罪を悔い改め、赦しを求め、イエスの救いの喜びを受取ってください。今日そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2222jp

★クラス 402
（伝道方法を学ぼう!）
5 月 29 日（日）13:00～17:00
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http　://t-b-c.us/give

クラス申込み
http://t-b-c.us/classes



奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者（数名募集）
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター（4 名募集）
月 1 回～各礼拝の時間（特に 3 時、5 時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org